

「ラーニングアシスタント・イニシアティブ (Learning Assistant Initiative)」募集要項

1. 背景と目的

教育革新センター (CITL) では、TA 業務に従事する修士課程・博士後期課程の学生を対象とした「未来の大学教員・専門職 (Preparing Future Faculty and Professionals : **PFFP**) プログラム」を構築しています。2025 年度は、未来の専門職 (Preparing Future Professionals : **PFP**) を養成するための (1) **STEM** (Science 科学, Technology 技術, Engineering 工学, Mathematics 数学) 分野の TA 研修の開発調査と (2) TA 研修教材の e ラーニング化を予定しています。

本募集では、CITL の若手教職員とともに PFP 研修の開発を行うラーニングアシスタント・イニシアティブ (Learning Assistant Initiative : **LAI**) を募集します。本事業は、2027 年度 (東京科学大学第 4 期中期計画最終年度) までの 3 年間で、PFFP を完成させるために、以下の表 1 に示したスケジュールで TA 研修の調査・開発を進めていく予定です。

表 1 未来の大学教員・専門職養成 (PFFP) 研修の年次進行表 (2025-2027)

年度	2025	2026	2027
重点分野	PFP 重点	PFP 重点 + PFF	PFFP
概要	博士後期課程学生が学内外で教育する機会を作り、教育指導力能力を高める研修制度を構築するために (1) STEM 分野の TA 業務の調査と (2) TA 研修のデジタルコンテンツ化をすすめる。CITL 教職員をリーダーとして、2 チーム (STEM 教育チーム, コンテンツ開発チーム) を組織し TA のための研修方法の開発、ならびに TA 業務の能力認定を提案する。		他大学の PFF 等のプログラム活用、ならびに本学独自開発を含めて PFFP を開始する。
方法	・ TA 勤務実態調査 ・ LAI を学内から 10 名程度募集 ・ 2 チーム制による TA 研修の開発・評価	・ LAI を学内から 10 名程度募集 ・ 2 チーム制による TA 研修の開発・評価 ・ 他大学 TF (Teaching Fellow 上級 TA) 業務の調査	・ QTA (Qualified TA) 業務の認定方法の調査・検討
予想成果	・ PFP 研修プログラム案の作成 ・ PFP 研修の e ラーニング化 ・ 分野別 TA 研修の企画・運営 ・ 優秀 TA・LA の表彰	・ PFP 研修プログラム案の作成 ・ PFP 研修の e ラーニング化 ・ 分野別 TA 研修の企画・運営 ・ 優秀 TA・LA の表彰	・ QTA/TF の認定 ・ デジタルバッジによる TA 研修の成果の可視化を目指す

2. 業務内容

ラーニングアシスタント・イニシアティブ（LAI）では、PFP 研修の調査・開発のために 2 チーム（STEM 教育チーム、コンテンツ開発チーム）に分かれて業務を行います。

STEM 教育チームは、学内の TA 業務の調査を実施し、TA に必要な知識・スキルの整理を行います。さらに、STEM 教育チームとコンテンツ開発チームが協力して、TA のスキルアップのための研修の提案と研修のデジタルコンテンツ化を CITL の若手教職員の指導の下ですすめていきます。

（1） STEM 教育チーム（チームリーダー：浅山拓哉特任助教）

CITL 教員の指導の下で、本学の理工系教養科目の TA が担当する業務を調査し、各分野の TA に必要な知識・スキルの整理とその研修内容を提案します。主な業務内容は以下のとおりです。

- **TA 業務の調査・分析**：本学の TA の現状把握、および本学の TA に必要な知識・スキルの明確化
- **TA 研修内容の提案**：TA 研修プログラムの企画、構成、制作、評価
- **教育ワークショップの運営補助**：CITL が実施する FD/SD 研修の運営補助、ならびに TA 研修の企画・運営

（2） コンテンツ開発チーム（チームリーダー：門松怜史特任専門員）

PFP 研修のためのオンライン教材の企画・制作・運用を担当します。オンライン教材の開発に必要なスキル（ビデオ撮影・編集）は、ハンズオン形式の実践演習と OJT（On-the-Job Training）で習得していきます。主な業務内容は以下のとおりです。

- **オンライン教材の制作**：コンテンツの構成設計、ビデオの撮影・編集、学習管理システム（LMS）へのコンテンツ登録等
- **コンテンツ運用支援**：LMS コースの管理補助、ならびに受講者の対応
- **教育ワークショップの運営補助**：CITL が実施する FD/SD 研修の運営補助、ならびに TA 研修の企画・運営

3. 応募資格

以下のすべてを満たすことが条件です：

- 本学の学院（修士課程または博士後期課程）に在籍していること
- 2025 年 9 月から 2026 年 2 月まで継続して活動できること
- ~~ラーニングアシスタントとして活動することについて指導教員から許可を得られること~~
採用後、指導教員からラーニングアシスタントとして活動することの許可を得られること

4. 勤務条件

- **勤務期間**：2025 年 9 月 1 日～2026 年 2 月 28 日（6 か月間）
- **勤務時間**：最大週 4 時間程度
- **報酬**：時給 1,600 円（本学の規定に基づき支給）
- **勤務場所**：東京科学大学 大岡山キャンパス 教育革新センター（W9-724）
- **募集人数**：10 名程度（予定）

※採用後の所属は「教育革新センター ラーニングアシスタント（LA）」となります。

5. 選考方法とスケジュール

- **選考方法**：書類審査および面接
- **応募締切**：2025 年 7 月 14 日（月）必着
- **提出方法**：指定のオンラインフォームから応募してください。
<https://forms.gle/VVz1pXXCC8TAgFgC7>
- **選考結果通知**：2025 年 7 月 22 日頃までに書類選考結果をメールで通知。
- **面接実施**：2025 年 7 月下旬（対面またはオンライン）
※志望動機・適性・経験などを確認し、必要に応じてスキルチェックを行う場合あり。
- **最終結果通知**：2025 年 7 月 31 日までにメールにて通知。
※上記スケジュールは予定であり、変更の可能性があります。変更時は個別に連絡します。

6. 連絡先

東京科学大学 教育革新センター PFFP プロジェクトチーム
〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1 西 9 号館 212 号室 教育革新センター事務室
Email：pffp@citl.isct.ac.jp
TEL：03-5734-2993
URL: <https://pffp.citl.isct.ac.jp/>

7. チームリーダー紹介

○STEM 教育チームリーダー 浅山拓哉特任助教プロフィール

2024 年 3 月東京工業大学理学院数学系数学コース博士後期課程修了。博士（理学）。同年 5 月より現職。専門は数論。東京工業大学在学時に数学相談室および「線形代数学第一・演習」などの理工系教養科目における TA を担当。教育革新センターでは教育質保証ならびに FD/SD 研修の実施運営に携わる。

○コンテンツ開発チームリーダー 門松怜史特任専門員プロフィール

2013 年金沢大学理工学域卒業。2016 年北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科修了。修士（知識科学）。金沢大学在学中より、FD・ICT 教育推進室 学生クルー（ティーチング・アシスタント）の撮影グループリーダーとして教材開発に関わる。その後、大学・民間企業において、ウェブシステムやオンライン教育コンテンツの設計開発・メディアプロダクションに従事。2024 年 1 月より教育革新センターオンライン教育プロジェクト（OCRD）において MOOC 制作のための TA 研修の企画・実施を担当。